

残暑お見舞い申し上げます

ウイズコロナの園芸福祉（第1回オンラインシンポジウム） ～コロナ禍における園芸福祉の実践活動からコロナ後を探る～

昨年2月頃から新型コロナウイルスの感染が世界中に広まり、経済活動や人々の移動制限・自粛が続いています。日本園芸福祉普及協会でも毎年6月頃に開催している「園芸福祉シンポジウム」が、昨年、今年と開催することができませんでした。このようなことから、会員が一堂に会するシンポジウムではなく、インターネット空間で集まり、情報を共有する「オンラインシンポジウム」を以下の通り企画しました。

なお、今回の活動紹介は、今年の5～6月に提出いただいた「年間活動アンケート」の中から協会事務局が抽出し、発表をご快諾いただいた会員の方をお願いいたします。必要機材をお持ちでオンラインのミーティングが未経験の方のためには、10月末頃に事前接続講習の実施も予定しております。ご不明な点を含め、協会事務局へメールでご相談ください。

日本園芸福祉普及協会 オンラインイベント検討委員会

- 開催日時：令和3年11月14日(日) 10:00～11:30
- 開催方法：オンラインミーティングソフト Zoom 使用（事前に参加申込者に URL を連絡）
- 参加費：無料
- 参加資格：日本園芸福祉普及協会会員、初級園芸福祉士・園芸福祉士資格所有者
- プログラム
 - 10:00～10:15 開会（開始）挨拶と開催の趣旨 吉長成恭（日本園芸福祉普及協会理事長）
 - 10:15～11:00 活動の紹介（1事例15分）
高齢者や子どもを対象に、施設、地域での活動 3例程度の紹介
 - 11:00～11:30 ディスカッション コロナ禍における園芸福祉活動の役割と留意点
司会 吉長成恭（日本園芸福祉普及協会理事長）
活動紹介者 3名
高齢者介護等施設管理運営者など
 - 11:30 閉会（終了）
- 参加申込：令和3年10月20日(水)締切の完全事前申込。申込要項は巻末頁参照。
- 必要機材：パソコンまたはスマートフォン

事務局から一言

コロナウイルス感染の影響から、各種行事や会報の発行などの年次スケジュールが定まらないことをお詫び申し上げます。しかし、通常総会につきましては、広島県の会員のご尽力により、6月12日に開催され、議案の承認をいただきました。

また、本号巻頭でご案内したオンラインシンポジウムのほかに、協会理事が関係している園芸療法の催しの案内を同封させていただきました。時節柄、会員の皆様への情報提供が少なくなっていることもあり、ご理解を賜り、ご参加をご検討ください。

（事務局長 粕谷芳則）

地域協力団体のご紹介

現在、全国各地域の園芸福祉活動を支えていくために、都道府県単位で園芸福祉の実践や普及、ネットワークづくりを進めている地域協力団体が 20 団体あります。地域の活動や行事等につきましては、お気軽に地域協力団体までお問い合わせください。お近くに地域協力団体がない場合は、当協会までお問い合わせください。

| 地域 | 団体名 | 連絡先 | 地域 | 団体名 | 連絡先 |
|---------------------|------------------------------|---------------------------|---------|-------------------|-----------------------|
| 福島県 | うつくしま園芸福祉の会 担当：服部・小池 | 024-593-6337 | 三重県 | 三重県園芸福祉ネットワーク | 0595-65-8787 |
| 栃木県 | 園芸福祉とちぎ | 0285-53-6825 | 滋賀県 | NPO 法人滋賀の園芸福祉研究会 | 077-589-2210 |
| 埼玉県・東京都 千葉県・神奈川県 | 園芸福祉首都圏ネット | 090-6925-6163 (五十嵐) | 京都府 | NPO 法人京の農・園芸福祉研究会 | 075-581-5499 |
| 新潟県 | 園芸福祉にいがた | 0258-86-8121 | 大阪府 | NPO 法人たかつき | 072-689-9112 |
| 石川県 | いしかわ園芸福祉協議会 担当：瀬川 | 076-225-1478 (内線 4271) | 兵庫県 | ひょうご宝塚園芸福祉協会 | 0797-86-0619 |
| 福井県 | ふくい園芸福祉研究会 | 090-1319-3555 (浦野) | 岡山県 | NPO 法人岡山県園芸福祉普及協会 | 090-7543-8168 (西村) |
| 長野県 | 長野県園芸福祉ネットワーク | 0265-98-6707 | 広島県・島根県 | ひろしまね園芸福祉協会 | 0823-33-7173 |
| 岐阜県 | NPO 法人岐阜県園芸福祉協会 | 0574-72-2222 | 福岡県 | 園芸福祉ふくおかネット | 090-5020-8758 (北野) |
| 静岡県 | NPO 法人しずおかユニバーサル 園芸ネットワーク | 053-425-8686 | 長崎県 | NPO 法人長崎さんさん 21 | 095-857-3251 |
| 愛知県 | NPO 法人花と緑と健康の まちづくりフォーラム | 052-613-1187 | 沖縄県 | 沖縄園芸福祉協会 | 098-895-8820 |

園芸福祉士資格審査のご案内

令和 3 年度園芸福祉士資格審査についてご案内いたします。

以下の①～③の審査条件をすべて満たした方は、

園芸福祉士資格審査の申込みをすることができます。

【審査条件】

- ①初級園芸福祉士の資格更新を 1 回以上行い、審査申込時点で資格登録者であること。
- ②園芸福祉活動を 2 年以上行い、年間活動アンケートを 2 回以上提出していること。ただし、年間活動アンケートは園芸福祉活動を行った報告であること。
- ③当協会または地域協力団体の主催或いは共催のシンポジウム、事例発表会、勉強会、イベント等に 1 回以上参加していること。ただし、本年度は新型コロナウイルス感染症のため開催された行事がほとんどなかったことから、③の条件は削除させていただきます。

令和 3 年度新たに①②の条件を満たした方には審査申込書をお送りいたします。また、令和 2 年度以前にすべての条件を満たし今年度審査を希望される方、審査条件を満たしているかご確認されたい方は、8 月 23 日(月)までに事務局までお問い合わせください。

審査申込期間

令和 3 年 8 月 15 日～31 日

審査料 3,000 円



初級園芸福祉士の自己紹介

本年度は、新たに約 120 名の方々が登録されました。その中から一部をご紹介します。

今春より、香川県観音寺市で雇用就農します。将来、独立して農業を営みたいと考えており、その暁には、地域の人に愛され食べてもらえる野菜づくりに加え、心を病んでしまった人の癒しの農園のようなコンセプトの農園づくりをしたいと考えております。園芸福祉士の皆さんとの交流を通じて、様々なこと勉強させていただきたいです。

(香川県 / 20 代)

私は、農業、工業共に盛んな愛知県三河地方に住んでいます。仕事は A 型支援事業所で働いています。趣味は農園芸ですが、特に小型の果樹を家で育てることを楽しんでいます。今後は仕事と趣味を活かして、活動していきたいと思っています。

(愛知県 / 40 代)

長年勤めた教師を定年退職し、今後は私を育み成長させてくれた地域に貢献していきたいと思っています。園芸福祉士として、植物を育てる仲間を形成し、年齢や障がいの隔たりなく参加・体験する人々の意志を大切に、楽しみながら達成感を得てもらい、皆が笑顔になれるよう努めていきたい。微力ではありますが、私の培った知識や技術、経験などを生かせたらと、願っています。

(神奈川県 / 60 代)

私は農業高校に在学しています。今、現在も花の勉強をしています。今回、初級園芸福祉士に合格することができたので、さらに園芸福祉に関する幅広い理解と知識、技能を地域活動で実践していきたいと考えています。また、地域づくりやまちおこし、ボランティアとして積極的に参加していきたいです。

(愛知県 / 学生)

私は新潟農業・バイオ専門学校園芸デザイン科で園芸について学習しています。園芸は、植物を育てる事だけではなく、園芸を通してたくさんの人を助けることができ、また、健康な体づくりができるなど、たくさんの効果があることが分かりました。今学んでいることを将来に活かしたいです。

(新潟県 / 学生)

専門学校で造園を学んでおり、授業で園芸福祉を知って資格取得しました。卒業後は室内・屋上緑化の設計やデザインを中心とする仕事への就職を予定しており、人の生活のごく近くに植物を取り入れ、心身の健康を保つ活動に貢献したいと考えています。

(岐阜県 / 学生)

花や野菜を育てて、世界中の人々と幸せになりたいです。

(三重県 / 学生)



地域協力団体の紹介

NPO 法人花と緑の健康のまちづくりフォーラムの活動紹介

NPO 法人日本園芸福祉普及協会 理事
NPO 法人花と緑の健康のまちづくりフォーラム 事務局長
田村 亨

NPO 法人花と緑の健康のまちづくりフォーラムは、2005 年に任意団体として設立、2007 年に法人化し、名古屋市の代表的な都市公園である鶴舞公園や東山動植物園、愛知県森林公園、木曽三川公園、庄内緑地公園、知多市旭公園、かざはやの里などで花壇の管理や手入れを障害者と協力して行っています。2006 年からは初級園芸福祉士養成講座を毎年開催し、2020 年もコロナ禍の中、協会と連携し感染予防対策を徹底して実施しました。

また、2020 年度から中部電力の委託で名古屋市港区にある自然風庭園「名古屋港ワイルドフラワーガーデン ブルーボネット」（以下、ブルーボネット）を運営しています。

ブルーボネットは、「はなふく」を掲げ、園芸福祉ガーデンとして「園芸福祉の理念による運営管理」を実践しています。清掃や除草業務に福祉施設の施設外就労を採用し、イベント、展示品・粗品・広報誌制作、カフェ、マルシェ運営など様々な業務で女性・高齢者・障がい者の就労支援に貢献し、D&I や SDGs に資する活動を行っています。



年間 250 万人の方が訪れるので、頑張って綺麗なガーデンを作ってます！@東山動植物園正門前花壇

農福連携についても、愛知県から委託を受け、2012～2014 年度はアグリジョブコーチ養成、2020～2021 年度は農福連携セミナー、サポーター（2021 年度は愛知県版農業ジョブコーチ）養成、特別支援学校での農業体験を行って、地域での普及に努めています。自らもその実践として、ブルーボネットの里山ガーデンで、農作業を行い、支援者から「利用者さんは自然と触れ合うことで気分転換になり、作物を育てている責任感から自発的に作業に取り組む姿勢も出てきた。自分たちで育てたサツマイモを収穫したときは本当に嬉しそうでした」と好評を得ています。

今後も、すべての人が笑顔で暮らしていける社会になるよう、園芸福祉活動や自立支援に取り組んで参ります。



農作業で疲れても、やり遂げた達成感で笑顔です！
@ブルーボネット里山ガーデンの畑

認定校の紹介

北海道大野農業高等学校

園芸福祉科長 大森 綾子

北海道の南、渡島管内の北斗市に位置する北海道大野農業高等学校は、今年、開校から 80 年を迎えました。北斗市は北海道の水田発祥の地であり、大野農業高校も地域の産業や農業を複合的に学ぶことのできる教育機関として、歴史を繋いできました。そして、地域の教育ニーズの変化に合わせ、昨年度、新たに園芸福祉科がスタートしました。

園芸福祉科では主に「果樹」「草花」「生物活用」「農業福祉」の 4 つの部門に分かれ、それぞれ園芸の基礎的知識や技能を学び、福祉の観点で園芸活動をどのように活用できるかなども体験的に学びます。そして、地域の高齢者施設や特別支援学校、幼稚園や保育園の園児と、作物の栽培や草花の活用を通じて交流しています。また、地域の観光施設や公共施設の花壇造成を行うなど、特色ある活動を行っています。

昨年度は新型コロナウイルス流行の影響で多くの連携事業は中止や規模縮小されましたが、今年度は園芸福祉科 2 年生 17 名が、5 月にジャガイモなどの作物の栽培・播種体験を地域の幼稚園や支援学校と実施しました。6 月には高齢者施設の花壇造成をお手伝いしました。7 月には地域の保育園児を招いて栽培交流と、栽培管理しているドライフラワー用の花材を活用した、ミニ花束の作成を行いました。9 月にはジャガイモの収穫体験も予定しています。

これからも地域の人と人を、大野農業高校の園芸福祉科の生徒がつなぎ合わせることで、作物栽培の魅力や花の癒やし、栽培体験を通じた食育活動など、園芸活動の幅広い可能性を発信し、園芸福祉の魅力を広げていきたいです。



園児との栽培交流

オンラインシンポジウム申込要項

- 【申込期間】 令和3年8月20日(金)～10月20日(水)
- 【申込方法】 メールのみでの申込となります。件名を「オンラインシンポジウム参加申込」とし、氏名、住所、TEL(日中に連絡のとれるもの)を明記の上、kyoukai@engeifukusi.com 宛てにお申込みください。
- 【参加方法】 11月8日(月)にZoom URLをメールでお送りします。
- 【インターネット接続環境】 WiFiまたは有線LAN接続でのご利用をお勧めいたします。通信にかかる費用は、全て参加者のご負担になります。
- 【接続テスト】 Zoomが初めての方は事前に下記のリンクより接続テストをお願いいたします。
<https://zoom.us/test> (ミーティングテストに参加)
- 【事前接続講習】 Zoomの使い方不安がある方には事前接続講習を実施いたします。参加申込の際、事前接続講習希望と明記してください。講習日等詳細は追ってご連絡いたします。
- 【事前接続講習の内容】 ・接続テスト(音声チェック、ビデオチェック)
・チャットの使い方 など
- 【禁止事項】 ・シンポジウムの録音、録画、撮影
・当会発行のURL、ミーティングIDやパスワードの第三者への開示、SNS等への投稿
- 【お問合せ】 その他ご不明な点は kyoukai@engeifukusi.com までお問合せください。



SDGs いま私たちにできること

『わたしたち地球に 住み続けるためには 今の暮らし方 変える必要がある
だれひとり取り残さずに 助けあうため 国連193カ国の みんなの声で 生まれた目標
Sustainable Development Goals SDGs 17の目標・・・♪』

これはNHKで流れている「SDGsのうた」の歌いだしです。

SDGsは国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成すべき“世界共通の目標”として掲げたものです。17の大きな目標とそれらを達成するための169のターゲットで構成されています。政府や自治体、企業の取り組みがクローズアップされがちですが、私たち一人ひとりが取る行動もとても大切なアクションです。その始めの一步は「いま私たちにできることってなんだろう？」と考えることから始まります。そこで日本園芸福祉普及協会では会員の皆さんと一緒に「SDGs 園芸福祉に出来ることってなんだろう？」を考えていきます。

SDGs ご意見募集

現在やっている園芸福祉活動でSDGsにつながっていると思われるものはありますか？

園芸福祉とSDGsについて、ぜひ皆さんのお考えや思いをメールまたはFAX、お手紙等でお寄せください。



メールマガジン配信中！

全国各地の活動情報、イベント、講習会など園芸福祉に関する情報を配信しています。登録は無料！

登録方法は、件名に「登録希望」、本文に氏名と認定登録番号を明記の上、下記までご送信ください。

送信いただいたメールアドレスを登録させていただきます。

登録完了後、「ご登録完了メール」をお送りいたしますので、「@engeifukusi.com」からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。

送信先 kyoukai@engeifukusi.com

ご意見は
こちらへ

NPO法人日本園芸福祉普及協会
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58
TEL:03-3266-0666 FAX:03-3266-0667
E-mail: kyoukai@engeifukusi.com
URL: <http://www.engeifukusi.com/>